

出会いをくり返して、強くなる

そして「できない」が「できる」に変わる!!

まちづくり 企業交流会

企業×地域で協働のまちづくりについて考える「まちづくり企業交流会」を開催します!!

平成26年9月から開催している2ndシーズンのまちづくり意見交換会では、今地域が抱えているさまざまな課題を解決するために、参加者がそれぞれの強みを持ち寄って何ができるかを議論してきました。

企業交流会では、そこで見えてきた地域が取り組むべき活動を、地域のみなさんが発表します。それを聞いたうえで、企業としてどのようにコラボレーションできるかを検討していただきます。

地域の課題を見て、聞いて、感じて、ビジネスのきっかけづくりにしてみませんか？



平成27年 **8月31日**(月)18:30~21:00

【場所】

東大阪市役所 18階 大会議室

【内容】

第1部 地域からの発表~いま地域がやるべきこと~

第2部 ワークショップ~企業ができることの逆提案~

【申込方法】

裏面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、ファックスで市民協働室までお送りください
(定員50名)

【申込・問合せ先】

東大阪市役所

協働のまちづくり部 市民協働室

TEL:06(4309)3319

FAX:06(4309)3812

Email:machikai@city.higashiosaka.lg.jp



スマートフォンで申し込まれる方は
QRコードをご利用ください

まちづくり企業交流会 参加申込書

① 参加企業名

② 参加者名(複数名可)

③ 住所 〒

④ 電話番号

FAX番号

⑤ 企業概要

⑥ 企業PR(強み)

※ご記入いただいた情報は、当日の資料として配布させていただきます。この事業以外の目的に使用することはありません。

FAX:06(4309)3812

上記の項目を記入のうえ、ファックスで市民協働室へお送りください。**(8月24日(月)必着)**



【会場へのアクセス】

東大阪市役所 18階 大会議室

〒577-8521東大阪市荒本北1-1-1

- 近鉄けいはんな線荒本駅
1番出口から西に徒歩約5分
- 地下鉄中央線長田駅
3番出口から東に徒歩約10分
- 国道308号線沿い 東大阪JCTすぐそば

【申込・問合せ先】 〒577-8521 東大阪市役所 協働のまちづくり部 市民協働室

TEL:06(4309)3319 FAX:06(4309)3812 Email:machikai@city.higashiosaka.lg.jp

まちづくり企業交流会 第一部発表内容

この1年間を通して、「まちづくり意見交換会」と題して、市民自ら地域の現状や課題を導き出しました。そして、自分たちの強みを持ち寄って、それらの課題を解決するための事業案を発表します。

「まちづくり企業交流会」では、各地域の現状や課題を知っていただき、企業が目線で、企業としてできることを検討・提案していただく時間にしたと考えております。

	現状	やるべきこと	事業案
A地域 『高齢者の居場所づくりと、近所づきあいのサポート』	<ul style="list-style-type: none"> ◆集いの場所や活動内容、日時が知られていない ◆開催頻度が少ない(月1,2回) ◆孤独死の不安を抱える人の割合 ⇒会話が「月に1,2回」という人 63.4% ⇒会話を「毎日」する人 38.2% 	高齢者が気軽に集える場所があり、かつ認知されるために、 すでにある集いの場所(サロン等)の見える化	居場所の情報データベースを中心に発信する仕組みづくり (マップ、冊子)
B地域 『防災マップづくり』	<ul style="list-style-type: none"> ◆地理的に台風・ゲリラ豪雨による土砂崩れや、浸水被害に遭いやすい ※池島校区標高4.6m(恩智川4.4m) ◆災害対策(日ごろの準備、防災訓練、避難場所)に無関心な人が多い ※H25年度 東大阪市政世論調査結果 ・東大阪市防災マップが「どこにあるかわからない」+「配付されていない」 49% ・過去2年間に防災関連の催しに参加したことがない 75% 	地域の情報(人、避難場所)がわかり、防災訓練の参加率向上のための 防災意識の高揚・啓発	校区別の詳細情報を反映し、個人情報取り扱いも考慮した防災マップ作り
C地域 『子ども会サポーター制度』	<ul style="list-style-type: none"> ◆全国的に子ども会の参加率が低下 原因①子どもたちの興味・関心が多様化 ②担い手が女性 ③運営負担の増加 ※H21年度→H26年度 40%→33.1%(東大阪市) 30.7%→11.3%(鴻池東小) 	今の時代にマッチした、子ども会の「担い手」を地域全体で支える仕組みを考える	かつて子ども会の運営をしていた人や、子育てが一段落した人に「子ども会現役世代サポーター」になってもらう制度

	現状	やるべきこと	事業案
D地域 『ポイ捨て ボクメツ作戦』	◆水質市内ワースト1位 H23・24年度 東大阪市におけるBOD年平均値 ・三六橋6.8～10.9mg/ℓ ・恩智川下流平均4.6mg/ℓ ・大和川流域2.1～5.0mg/ℓ ※BOD＝生物化学的酸素要求量 魚類が生存可能な数値は3～5mg/ℓまで ◆不法投棄2,201件	楽しく身近に継続して続けられる美化活動で、 ゴミを捨てる人を少なくする	ポイ捨てボクメツ作戦 「子どもと一緒にカワイイ『ポイ捨てダメよ看板』をつくろう」
E地域 『子どもの遊び場 (居場所)づくり』	◆子どもの遊びから三間(時間、空間、仲間)が欠如している。特に、外遊び空間の欠如については、小学生以下の子どもを持つ母親に対する意識調査において、「公園」そのものの量については多いと感じる人が多数派であるが、 ・子どもが自由に遊べる公園が少ない 63.7% ・子どもが自由に遊べる公園以外の屋外空間が少ない 84.8% との調査結果。※株式会社 第一生命経済研究所レポート	地域内で安全・安心な子どもの居場所を増やすために、 子どもの意見を反映	子どもたちによる、 遊び場(居場所)マップづくり
F地域 『ペットと共存できる社会を考える』	◆ペットをきっかけに、世代を超えた交流ができる ⇒ペットの飼育がよい理由「ペットを通じて近所付き合いが深まる、友達になれる」 41.8% ※平成22年度内閣府「動物愛護に関する世論調査」より ◆マナーを守らない飼い主がいて、トラブルに ⇒地域のトラブル 4位「ペットの飼育トラブル」 ※平成24年日本生活協同組合連合会 「地域のコミュニティと交流」に関する調査より	ペットをきっかけに世代を超えた交流ができるよう、 ペットと共存できる社会を考え、広める	①去勢・避妊の東大阪市助成金に対する広報 ②市民(町内会長向け)野良猫講座
G地域 『困った時には安心できる地域の力 ～つながりの場～』	◆場所、頻度が少ない、ヨコの連携ができていない ※全体で集まるのは「文化祭」の1回きり ◆G地域には33ヶ所公共の施設があるものの、公共の施設は個人では借りにくい ※公立小中学校 18校 公民館等 14ヶ所 近江堂RC 1ヶ所	世代を超えて皆が気軽に集まれる場所・イベントがある地域にするために、 老若男女問わず集まれる交流の場づくり	長瀬近大通り長屋を活用し、「子供塾」を開催することで交流を図る